

令和4年度 森林環境譲与税の使途公表

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
			うち令和4年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
富良野市	① 意向調査の準備作業	森林環境譲与税事業	82	82		森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査の準備作業として、北海道が導入する森林統合クラウドシステムにおいてLG-WAN回線を利用することにより、個人情報を管理する上で必要なセキュリティ対策の強化を実施。	LG-WAN回線を利用することにより、個人情報を管理する上で必要なセキュリティを強化した。	【令和4年度】 ①意向調査の準備作業 ・個人情報を管理する上で必要なセキュリティ対策を強化するため、森林統合クラウドシステムにおいてLG-WAN回線を利用し、意向調査の実施に関する情報の収集・整理をすることで意向調査の実施につながった。
富良野市	② 意向調査	森林環境譲与税事業	3	3		森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査実施に係る切手の購入費。	意向調査実施結果については、右に示すとおり。	②意向調査 ・森林所有者35名に今後の森林経営に関する意向調査を行った結果、下記の意向を確認できた。 回答18名（回答率51%） 自己管理…4名 森林組合等に委託…6名 市に委託…1名 手放したい…4名 無回答…3名
富良野市	③ 私有林整備	富良野市私有林等整備事業	540	540		市内の私有林の森林整備事業に対する補助事業。 （補助率：保育間伐…標準経費の84%、冬季の間伐に伴う除雪…定額補助、その他…標準経費の68%）	富良野市私有林等整備事業の実施内容については、右に示すとおり。	③私有林等整備 ・事業実績 保育間伐3.21ha 間伐0.33ha 冬季の間伐に伴う除雪1.935km 上記の事業を実施したことで、森林の有する多面的機能が維持・増進され森林環境の保全が図られた。
富良野市	⑦ その他（森林整備）	森林環境活性化推進事業	2,000	2,000		森林作業の効率化と労働力の軽減を図るため、林業機械及び接続する機器導入に対する補助事業。 （補助率：機械等の導入に係る経費の1/3以内。上限2,000千円）	グラブ付きバックホー1台の導入に対する補助を行ったことにより、森林作業の効率化と労働力の軽減に繋がった。	⑧担い手確保 ・北海道林業・木材産業人材育成支援協議会へ負担金を支出することで、北海道立北の森づくり専門学院生の修学を支援し、未来の人材育成が図られた。
富良野市	⑧ 担い手確保	森林環境譲与税事業	50	50		担い手確保に向けた取り組みとして、北海道林業・木材産業人材育成支援協議会に対しての負担金。	北海道立北の森づくり専門学院 令和3年度 入学者40名 令和4年度 入学者40名 令和5年度 入学者34名	⑩基金積立（森林整備等） ・令和5年度以降も安定的に富良野市私有林等整備事業等を実施する必要があることから基金を積み立てた。
富良野市	⑧ 担い手確保	森林環境活性化推進事業	1,000	1,000		市内における荒廃地の森林への復旧を目的とした造成活動に対する補助事業。 （対象経費の1/3以内。上限1,000千円）		【令和5年度以降】 ・意向調査については、令和5年度を終了の目途として区域ごとに実施する。 ・市内の森林整備を適切に実施するため、富良野市私有林等整備事業を継続して行う。 ・木育を目的として子どもの木育スタート事業を継続して行う。 ・新規事業の創設を予定していることから、適切な事業執行に努める。
富良野市	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	子どもの木育スタート事業	3,271	3,271		令和3年度より、木育を目的として、市内に誕生した新生児に対して、富良野市産材を活用した積み木を配布する。	子どもの木育スタート事業の実施内容については右に示すとおり。	
富良野市	⑰ 基金積立（森林整備等）	基金積立	9,088	9,088		令和5年度以降も継続して富良野市私有林等整備事業等を安定的に実施する必要があることから基金を積み立てる。		
合計			16,034	16,034	0	0		